

# 環境映像祭

2007年4月16日(月)～22日(日) 各日19:00より

会場：ひつじ屋カフェ&ギャラリー (JR 大糸線穂高駅前すぐ・駐車場あり)

参加費：1回500円 (1ドリンク付き)

## 4月16日(月) 『地球白書』



21世紀、人類は豊かな暮らしを維持できるのか…。カギを握る地球環境問題に取り組んだ大型ドキュメンタリー。かけがえのない地球を守り、すべての人類が等しく豊かに生きられる社会を築くために、いま、私たちはどのような変革を迫られているのか。その解決策を求めて世界20カ国以上を取材し、国家、企業、そして市民の取り組みをサポートしたNHK、CNN(米)、アンテロープ(英)テレヴィー・ジュ・インターナショナル(フランス)との国際共同制作番組。語り：江守徹、中西妙子、黒田あゆみ、柴田裕規子

## 4月17日(火) 『素晴らしき地球の旅 自由の種をまく～子安美知子・フミ、シュタイナーとの25年』



「テストも通信簿もなく、教科書も使わない。ひとりの担任が8年続く」という12年制の小中高一貫教育の学校がドイツにあります。子どもの内的生命と自発性を尊重したその学校を、シュツットガルトのバルドルフ煙草(たばこ)工場の付属学校として創立したのがドイツの哲学者シュタイナー(Rudolf Steiner 1861-1925)です。ナチス時代には閉鎖したこともありましたが、戦後、学校数が増加し、1968年には西ドイツで29校、81年には70校になりました。別の資料によると、全世界には約100校を超える自由バルドルフ学校(シュタイナー学校の別名)があります。テスト、通信簿、競争のない学校は、日本では考えられませんが、これはシュタイナーの基本著作「一般人間学」の精神によるもので、その考え方は、子どもの存在を「物質体・生命体・感情体・自我」の4つの側面からとらえ、バランスよく育成しようとするものです。

## 4月18日(水) 『NHK特集 エンデの遺言 根源からお金を問う「モモ」に隠されたメッセージ』



ミヒャエル・エンデが日本人への遺言として残した一本のテープ(1994年)をもとに作られたNHKの番組「エンデの遺言 根源からお金を問う」はたいへんな反響を呼びました。日本の地域通貨は、この映像を見た人の中からはじまりました。「ネバー・エンディング・ストーリー」の作者でもあるエンデは、お金によって生まれてきた現代社会の病を語ります。人間が作ったはずのお金なのに、お金に人間が振り回されてしまっている、お金を変えない限り人間の幸せはやってこない、と語ります。

## 4月19日(木) 『パーマカルチャー 地球とつながる楽園の暮らし ～ニュージーランド 虹の谷の農園から』



パーマカルチャーにこそ、人間らしい暮らしがある。南半球の楽園ニュージーランド。ここに世界中の人々から注目を集める夫婦がいる。夫のジョーはオーストリア生まれ、ヨーロッパでグラフィックデザインや有機農業の仕事をしてきましたが、1983年に都会生活を捨て、妻トリッシュの故郷ニュージーランドに移住しました。そして20年近く、自然と共生した自給自足の生活を続けています。そこに貫かれたパーマカルチャーの思想。ジョーとトリッシュはパーマカルチャーの実践者として自らの経験をもとに、多くの人に語りかけています。

ナレーション：デジャーデンゆかり 企画・制作：パーマカルチャーネットワーク九州

## 4月20日(金) 『ラダック 懐かしい未来(Ancient Futures)～発展とは何か?』



スウェーデン出身の人類学者による本から生まれたこのビデオに、世界の人々が共鳴。米国では小中学校の授業にも取り上げられています。その日本語版を上映します。グローバル化とは何か?題材はヒマラヤの山村ですが、現代の日本をもう一度見直したいと感じさせる映像です。小チベットと呼ばれるラダックは、チベット仏教が篤く信仰され、質素倹約と助け合いの伝統により何世紀にもわたって環境バランスや社会的調和の中で暮らしてきました。そこに、やがて「開発」「発展」がやってきたのです。ラダックの文化と環境が崩れていくさまは、「進歩」とは何か、世界の「貧困国」における「開発」、「先進国」における「発展」のあり方を考えさせられます。ラダックの事例は、環境や社会、あるいは私たちの精神の諸問題の根本的な原因について示唆してくれます。そして、私たちの未来についても貴重なガイドラインを与えてくれます。

## 4月21日(土) 『未来からの贈り物 この星を旅するものがたり ～人はいま、どこに向かおうとしているのか』

映画「ガイアシンフォニー」のテレビ版として、1995年3月1日TBS系にて放映。池澤夏樹が物語を書き、「裏ガイアシンフォニー」としてファンのあいだでは有名な作品です。出演：第14世ダライ・ラマ法王(チベット仏教最高指導者)、フリーマン・ダイン(物理学者)、星野道夫(写真家)、リン・マーグリス(生物学者)、トーマス・レイ(人工生命研究者)



Message for you from H.H. the Dalai Lama

もっとも重要なことのひとつは、慈悲の心です。

慈しみの心は、ニューヨークの大きな店でも買うことはできません。機械でも作り出せません。しかし、心の内なる発展によってはじめて手に入れることができるのです。



## 4月22日(日) 『自然と命』助産婦高橋小百合「いのちの訪れ 女たちの祈りの世界」

5/5 発売のDVD 試写会と、野外保育森の子の様子や

自然出産の写真、子どもたちの写真など、自然、いのち、祈りをテーマにしたスライドショー

